

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	上豊富保育園	施設種別	保育所 (旧体系： )
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成23年3月16日

総 評	<p>上豊富保育園は昭和28年4月1日上豊富地区立として開設され昭和47年社会福祉法人上豊富福祉会設立に至るまで、当地区自治会長が管理者として運営をされてきました。このような経過から、地域との交流を大切にし、情報公開を積極的に行い、保護者のニーズを把握して、延長保育事業・一時保育事業・就学前発達支援事業・子育てサポート事業・通園バスの運行等、地域の子育て支援の拠点として、貢献されています。</p> <p>現園舎は平成17年3月全面改築され、周囲は豊かな自然に恵まれ、園舎内は自然の採光を取り入れ、明るく清潔な室内空間が保たれています。また、午睡用布団・着替え等の収納スペースに工夫が施され、子ども達が落ち着き安心して過ごすことができる環境が保障されています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園舎内外共に安全管理・衛生管理・備品整理が行き届き、子ども達が心地よく過ごすことのできる環境が整い、自発的に活動できる工夫が随所に為されています。</li> <li>・職員は積極的に自己評価を行い、課題・問題点を把握し、見直し・改善に向けた取り組みが為されています。</li> <li>・年度当初の家庭訪問・個人面談、全園児に対して連絡帳の毎日の記録等を通して保護者との連携を図っています。</li> </ul>
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に関する基本方針は明示されていますが、職員一人ひとりの目的意識を反映した個別研修計画を策定し、研修結果を評価・分析して、その結果を研修計画に反映される事が望ましいでしょう。</li> </ul>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-1(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-2(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-2(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・保育理念、保育目標は「入園のしおり」「保育所要覧」に明文化され、職員には職員会議等で周知しています。また、園内保育室などに掲示して利用者にも周知しています。地域の自治会などにも毎月「園だより」を配布することにより園の理念、具体的な活動などの周知を図っています。

・保育課程はクラス別懇談会の意見などを聞き取り、保護者の意向を反映して編成されています。また、保育課程を基に、年間の指導計画、月案・週案を作成し、毎月の職員会議で見直し、改善を図り全員で共有しています。

・保育課程や指導計画は、園だよりやクラス便りで保護者等にわかりやすく紹介しています。

・管理者は自らの役割と責任について職務分担で明確にし、職員会議で表明しています。

・管理者は月例の職員会議において、月案や報告書を基に、保育サービスの質のチェックし、毎月の保育サービスの目標を掲げるなど指導力を発揮しています。また、職員からの提案の機会を設け、保育の質について把握するとともに、保育の質の向上に努めています。

・管理者は日常業務を見直し、省力化を図るため、各クラス毎にパソコンを導入するなど、業務の効率化に積極的に取り組んでいます。

## II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

### [自由記述欄]

・園長は、保育専門誌や保育専門コンサルタントを活用し、社会福祉事業全体や保育業界の動向の把握に努めています。また、上豊富地区600世帯の子どもの状況の把握に努めており、それに併せて今後の事業計画を作成しています。

・必要な人材に関する具体的なプランが構築され、園長は毎年定期的に職員と面談し職員の意向を聞くなど、適正な配置に努めています。職員の勤務年数が長く落ち着いた保育が為されていますが、マンネリズムに陥らないよう努力しています。

・職員研修マニュアルに「研修に関する基本方針」が明示されていますが、個別の研修計画は策定されていません。また、研修報告などを評価・分析するなどして、次の研修計画に反映されることが望ましいでしょう。

・実習生の受け入れに対する意義・方針は「実習生受け入れマニュアル」に明記しており、職員全体で共有しています。

・地域密着型の小規模保育園であり、園の行事などについては、関連団体に「園だより」「お知らせ」などを配布するなど、積極的に行事の参加を呼びかけています。

・ボランティアの受け入れに対する基本姿勢や体制などは「ボランティア受け入れマニュアル」にて、整備・確立しています。

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	B	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

#### [自由記述欄]

・プライバシー保護については、「プライバシー保護マニュアル」を作成しています。また、個人情報に関する注意事項については、職員会議で説明し、周知徹底しています。また、個人情報等の書類は、事務室のセキュリティボックスにて保管しています。

・利用者からの意見等に対しては、「保護者の意向に対するマニュアル」に基づき迅速に対応しています。なお、意見、要望等については、職員全員で共有しています。

・第三者評価を受診するに際し、園長を中心とした第三者評価委員会を設置し、自己評価を実施し保育サービスの見直し、改善を行っています。自己評価の実施にあたり、職員は「保育向上委員会」「安全管理委員会」「地域連携委員会」「給食委員会」のいずれかに参画して、園の課題を明確化しています。

・利用希望者に対しては、保育園要覧に必要な情報を記載し、発信しています。また、園庭開放も随時行っており、地域の有線放送を利用したり、各自治会に回覧板を用いて情報を提供しています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	B	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかがわかれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

[自由記述欄]

・健康管理に関する基本的なマニュアルが整備されています。また、子ども一人ひとりの健康状態は、職員間で情報が共有化されていて、感染症に対応できるマニュアルも整備されています。

・給食は、ランチルームで異年齢児が楽しく食べたり、職員が給食メニューの食材を子ども達に語ったりするなど、食への関心を高める取り組みが為されています。給食従事者もランチルームで食事をとり、子ども一人ひとりに応じた喫食状況や嗜好などを把握しています。

・アレルギー疾患を持つ子どもの受け入れ実績はなかったが、受け入れの態勢は整っています。

・周囲が豊かな自然に恵まれ、採光や風通しもよく、園庭や玄関・廊下・保育室など清潔で落ち着いた雰囲気と、遊戯室のステンドグラス風の動物画を用い子ども達に夢をもたらし工夫が施されています。

・保育士の朝の受け入れや保育室での関わりは、子ども達の目線に立ち、子どもたちへの対応は丁寧で暖かく受容しており、子どもの人権に配慮した保育がなされています。

・子どもの発達段階に応じた玩具・遊具が用意され、自分で取り出し自由に遊べるよう整理整頓が為されています。また、各自の道具箱には、粘土・クレパス・のり・はさみ・自由画帳等が用意され、自由に使えるように工夫されています。

・3歳児～5歳児は、グループでの異年齢児保育や当番活動などを通してルールを守ったり、友達と一緒に配膳したりしています。

・乳児保育室の自然の採光等の環境は良く、職員がSIDSや危険に関する知識の共有や長時間保育のための環境の整備が適切に取り組みまれています。

#### IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	B	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

#### [自由記述欄]

- ・全園児に対し、毎日園での様子を記録した連絡帳や送迎時の一言コミュニケーションの実施、年度当初の家庭訪問・個別面談を通して保護者との連携を図っています。
- ・安全管理委員会が作成した児童虐待対応マニュアルは、全職員が認識し異常を察知した場合は、即座に関係機関と対応できる体制になっています。
- ・指導計画を整備し、発達記録が適切に記録され、小学校などとの連携に活かされています。

#### IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

#### [自由記述欄]

- ・衛生管理マニュアルや食中毒対応マニュアルが整備され、全職員に周知されるとともに研修も行われています。
- ・事故防止チェックリストや、事故発生時対応マニュアル、不審者侵入時対応マニュアルがあり、全職員に周知されるとともに定期的に見直し・改善が行われています。